

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年10月11日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

まず、2. 審査会合などについてから始まります。

1ページ目の下を御覧ください。10月15日火曜日、(2) 第3回材料技術評価検討会、こちらは永瀬規制基盤技術統括調整官が対応となります。こちらは、7月3日の原子力規制委員会におきまして、今後推進すべき安全研究の実施方針について了承されました。そこで了承されたもののうち、システム安全研究部門の担当する令和2年度からの研究に関しまして、事前評価のために外部の専門家から意見を聴取するものです。

1枚おめくりください。2ページ目、(3) 第784回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは山中委員と、一部石渡委員が対応されます。議題ですけれども、実は4つございます。ちょっと多いので、もろもろ御説明させていただきます。

まず、議題の1つ目は、関西電力・美浜発電所3号機、高浜発電所1号機、2号機、3号機、4号機、大飯発電所3号機、4号機の設置変更許可に関しまして、9月26日に大山生竹テフラに関する設置変更許可申請がありました。その概要説明を受けるものです。

このうち2つ目ですけれども、こちらに関西電力・高浜発電所1号機、2号機、3号機、4号機の設置変更許可に関しまして、同じく9月26日に警報なし津波に関する設置変更許可申請がありましたので、その概要説明を受けます。

これら2つが山中委員と石渡委員の合同となります。

3つ目ですけれども、関西電力・高浜発電所1号機、2号機、3号機、4号機の保安規定の変更認可申請に関しまして、8月27日の会合のコメント回答を受けるものです。

最後、4つ目になります。四国電力・伊方原子力発電所3号機、九州電力・玄海原子力発電所3号機、4号機、同じく九州電力・川内原子力発電所1号機、2号機、関西電力・高浜発電所3号機、4号機、美浜発電所3号機、大飯発電所3号機、4号機、これらの実用発電炉の設置変更許可に関しまして、有毒ガス防護設備に関する8月20日の会合のコメント回答を受けるものです。

以上4つが(3)の関係の議題の詳細となります。

続きまして、(4) 第3回核燃料サイクル技術評価検討会、これは先ほど御説明した(2)と同じ趣旨でございます。安全研究に関しまして、核燃料廃棄物研究部門の担当する研究に関しまして、事前評価のために外部専門家の意見を聴取するものです。

続きまして、10月16日水曜日、(6) 第9回地震・津波技術評価検討会、こちらも先ほどと同じく安全研究の関係で、令和2年度からの地震・津波研究部門の研究に関しまして、外部専門家の意見を聴取するものです。

(7) 第6回シビアアクシデント技術評価検討会、こちらも基本的には同じ趣旨です。シビアアクシデント研究部門の研究のうち、まず、令和2年度から開始するものの事前評価と、こちらは平成29年度から開始したもののうち、3年経過したものの中間評価のために、外部専門家から意見を聴取するものとなります。

続きまして、(8) 第306回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が2つございます。

1つ目は、日本原燃・再処理施設の事業変更許可に関しまして、これまでの複数の会合のコメント回答を受けるものです。

もう一つの議題ですが、これは日本原燃・廃棄物埋設施設の事業変更許可に関しまして、これも複数の会合のコメント回答を受けるものです。

1枚おめくりいただきまして、3ページ目に行きます。一番上から参ります。

10月17日木曜日、(10) 第25回もんじゅ廃止措置安全監視チーム、こちらは日本原子力研究開発機構(JAEA)のもんじゅに関しまして、9月から行われている炉心からの燃料取り出し作業の報告を受けるとともに、今後の作業について説明を受けるものです。

次の(11)に関しましては、議題調整中となります。

続きまして、(12) 第10回実用発電用原子炉施設の廃止措置計画に係る審査会合、こちらは九州電力・玄海原子力発電所1号機、2号機のそれぞれに関しまして、9月3日付で、1号機については廃止措置計画の変更認可申請がありました。2号機に関しましては、廃止措置計画の認可申請がありました。いずれもそれぞれ初めて申請を受けたものですので、あわせて概要の説明を受けるものです。

続きまして、その下、10月18日金曜日、(13) 第3回原子炉压力容器に対する供用期間中の破壊靱性の確認方法等の技術評価に関する検討チーム、こちらは日本電気協会が原子炉压力容器の破壊靱性の確認方法に関する規格を持っておりまして、過去2回、前回は9月6日でしたけれども、検討チームを開いて日本電気協会から説明を受けております。今回はチームとしての評価などについて、議論がなされるものです。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、4ページ、(15) 第1回震源を特定せず策定する地震動(スペクトル)の規制導入の経過措置に係る意見聴取会、こちらは大村長官官房審議官の対応となります。

9月11日の原子力規制委員会におきまして、標準応答スペクトルの規制の取り入れ方について了承いただきましたが、その際、事業者が対応するための経過措置の期間につい

て事業者の意見を聞くとされたことから、今回、意見を聴取するものです。

続きまして、(16) 第7回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会、こちらは対応が金子長官官房審議官となります。ただし、更田委員長も出席されます。

こちらは議題が2つございますが、議題の1つ目は、9月11日の原子力規制委員会で了解が得られました今後の進め方につきまして、検討会の場でもう一度全員で認識を一致させるものです。

議題2ですけれども、こちらは9月11日の資料の中で具体的検討項目と挙げられていたものにつきまして、もう少し詳しく項目を分けまして、優先順位等を議論するものでございます。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それで、1つ資料について修正をさせていただきます。記者の皆様にもうお配りしている資料のところ、(15)の会議でございます。こちら、お配りしてある資料「第1回震源を特定せず策定する地震動（全国共通としての）」という資料を皆様にお配りしておりますが、正しくは、先ほど児島が申し上げましたとおり「第1回震源を特定せず策定する地震動（スペクトル）の規制導入の経過措置に係る意見聴取会」という名称になります。おわびして修正させていただきます。このブリーフィングが終わった後に、正しい紙を再度配布させていただきます。申しわけございませんでした。

それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。マルヤマさん。

○記者 TBSのマルヤマです。よろしくお願いします。

たしか今年8月だったと思うのですけれども、大雨特別警報が出たときに、玄海原発の件に関して発信されたと思うのですけれども、明日の台風なのですから、そういうことは考えていらっしゃるのでしょうか。あのとき、ちょっと特別にみたいなことをたしかおっしゃっていたのですけれども。大雨特別警報が出たときに、異常ありませんみたいなのを流して。

○児嶋総務課長 緊急参集チームが集まった件ですね。

○司会 そうですね。承知いたしました。その件につきましては、内閣官房のほうに情報提供をした案件につきましては、記者さんのほうにもメールという形で情報提供のほうをしております。今回についても同じことは当然考えております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。前からお願いします。

○記者 共同通信のアベです。

関連してなのですが、明日、台風はかなり大きいのが予想されていますけれども、規制庁として何か対応をされていることというのはあるのでしょうか。

○児嶋総務課長 規制庁におきましては、まず、宿日直体制を必ずとっております。どんな事案が起きても対応できますように。その宿日直員が雨で来られないということがないように前泊させるなり、また、必ず電車が止まってもタクシーで来られるようにとか、そういう手配をしております。また、規制事務所のほうにつきましても、その体制が必ずなくなることはないように、それぞれ指示を出しています。

○記者 規制事務所と現地の原発の対応というのは、何か特別なことはあるのでしょうか。

○児嶋総務課長 基本的には、規制事務所のほうで必要に応じて待機するという形になります。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 それでは、フクオカさん。

○記者 日本経済新聞のフクオカと申します。

(15) に関してお伺いします。ここに来る事業者というのは、各電力会社が来るということですか。電気事業連合会として来るのか、各社が来るのか、どちらでしょうか。

○児嶋総務課長 まだ決まっていないそうです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

ちょっと念のためお伺いしますが、明日から大雨ということで、台風19号ですが、通り道には浜岡原発でありますとか、東海第二原発であるとか、あとは、福島第一原発、第二原発というものが、それは廃止期間中ですが、廃炉をしておりますけれども、廃止措置中ですが、ありますけれども、何か大雨によって大きな影響を受ける可能性とか、そういう予測というのは、今のところ、ないでよろしいのでしょうか。

○児嶋総務課長 現時点はございません。ただ、何が起きるか分からないので、ある意味では、何でも起こり得るという前提で警戒しております。

○司会 それでは、よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。